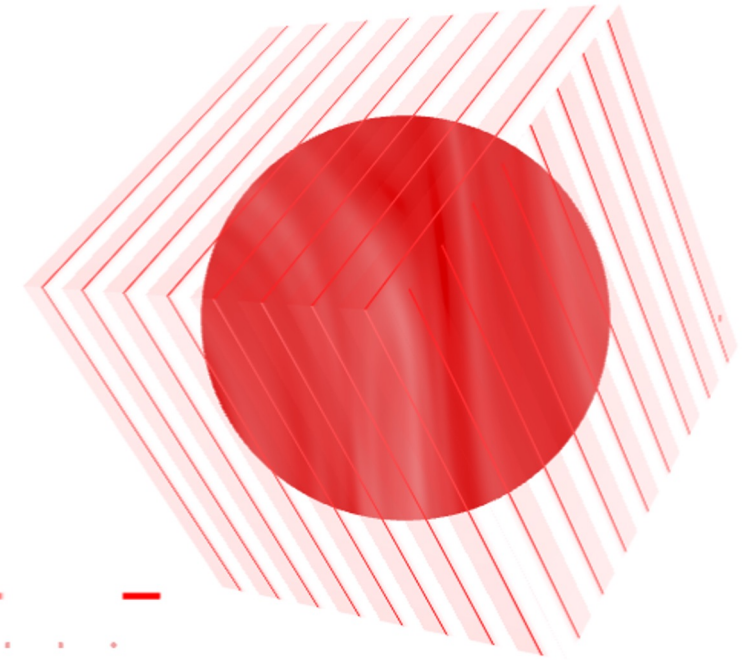


# 2023年10月期第1四半期 決算説明会資料

2023年3月14日



**1** 2023年10月期第1四半期決算概要

**2** 事業ハイライト

**3** 成長戦略

**4** Appendix

## 全 体 感

- ・赤字決算で着地
- ・ただし、各収益指標のQ1目標値は赤字スタートを想定しており、予測通りのQ1着地
- ・営業損失126百万円のうち124百万円相当が、キャッシュアウトのない評価性損失

## セグメント業況

- ① ブロックチェーンサービス
  - ・のれん償却費が負担
  - ・事業戦略を柔軟に転換した結果、複数のパートナーシップを獲得
- ② システムエンジニアリング
  - ・順調に黒字体質を維持
  - ・エンジニアリソース獲得のための採用競争力の強化が課題
- ③ インキュベーション
  - ・暗号資産不況による評価減発生するが、売却益でリカバリ

## 業 績 予 想

- ・変更なし
- ・ブロックチェーンセグメントにおいて、Q3以降に複数案件の収益化を見込む

# 01

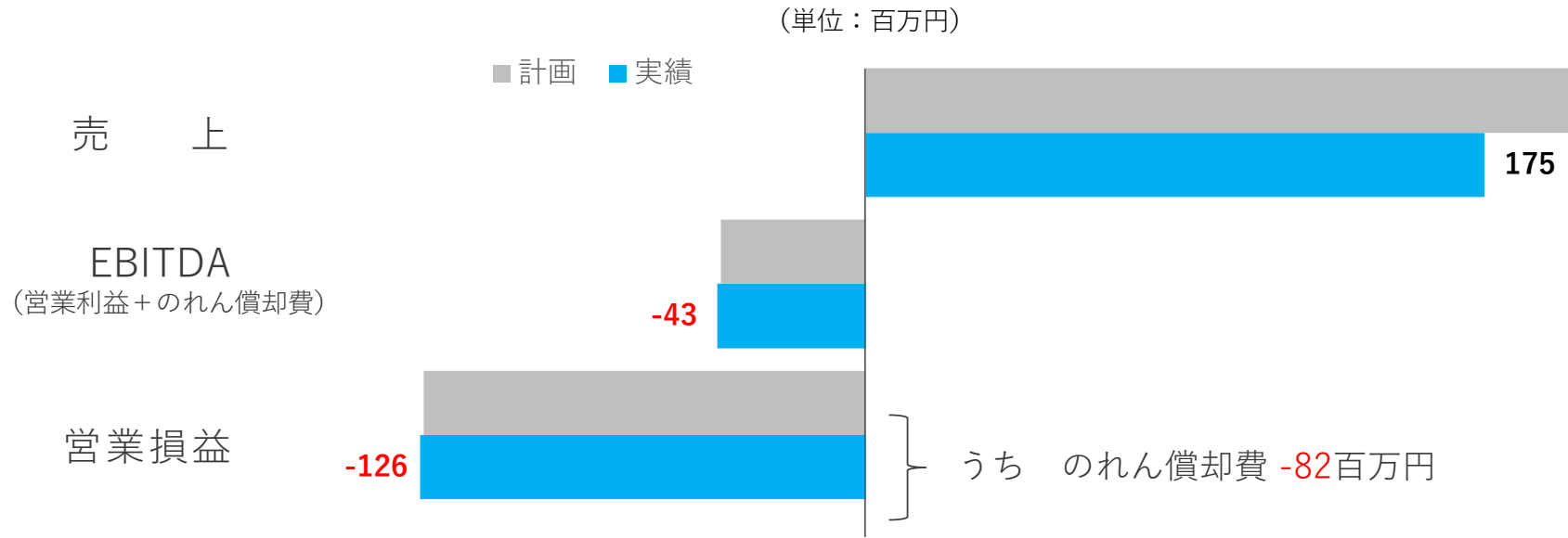
## 2023年10月期 第1四半期決算概要

- ・前期Q1と比して、いずれの指標もマイナス着地
- ・連結対象となる事業や法人に変更が生じており、前期比において大きな乖離が生じている

(百万円)	(参考) 2022年10月期 第1四半期	2023年10月期 第1四半期	増減	
			増減額	%
売上高	334	<b>175</b>	△159	△48%
EBITDA	68	△ <b>43</b>	△111	△163%
営業利益	44	△ <b>126</b>	△171	△381%
経常利益	47	△ <b>124</b>	△172	△359%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	28	△ <b>148</b>	△177	△614%

※ 2022年10月期第1四半期は、譲渡済みのEラーニング事業および連結子会社の事業収益が含まれております。

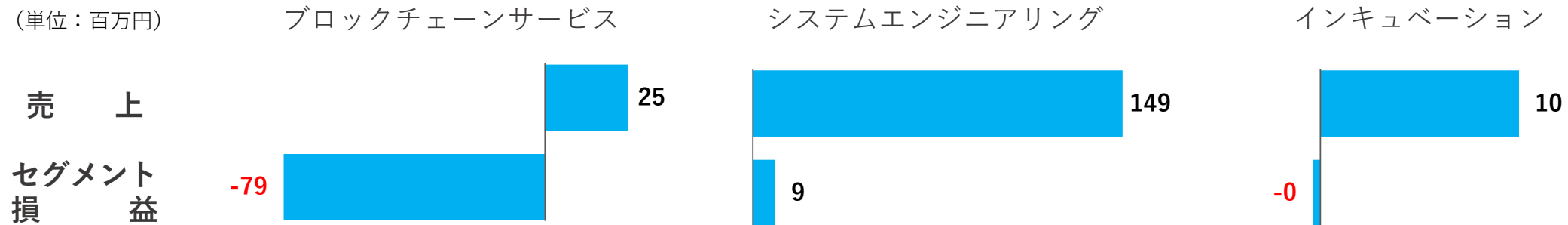
- ・業績の進捗はほぼ計画通り
- ・ブロックチェーンのセグメント損益がのれん償却費の負担によりマイナス



※ 四半期別目標（社内指標）との比較を表示しております。

## セグメント損益の状況

(単位：百万円)

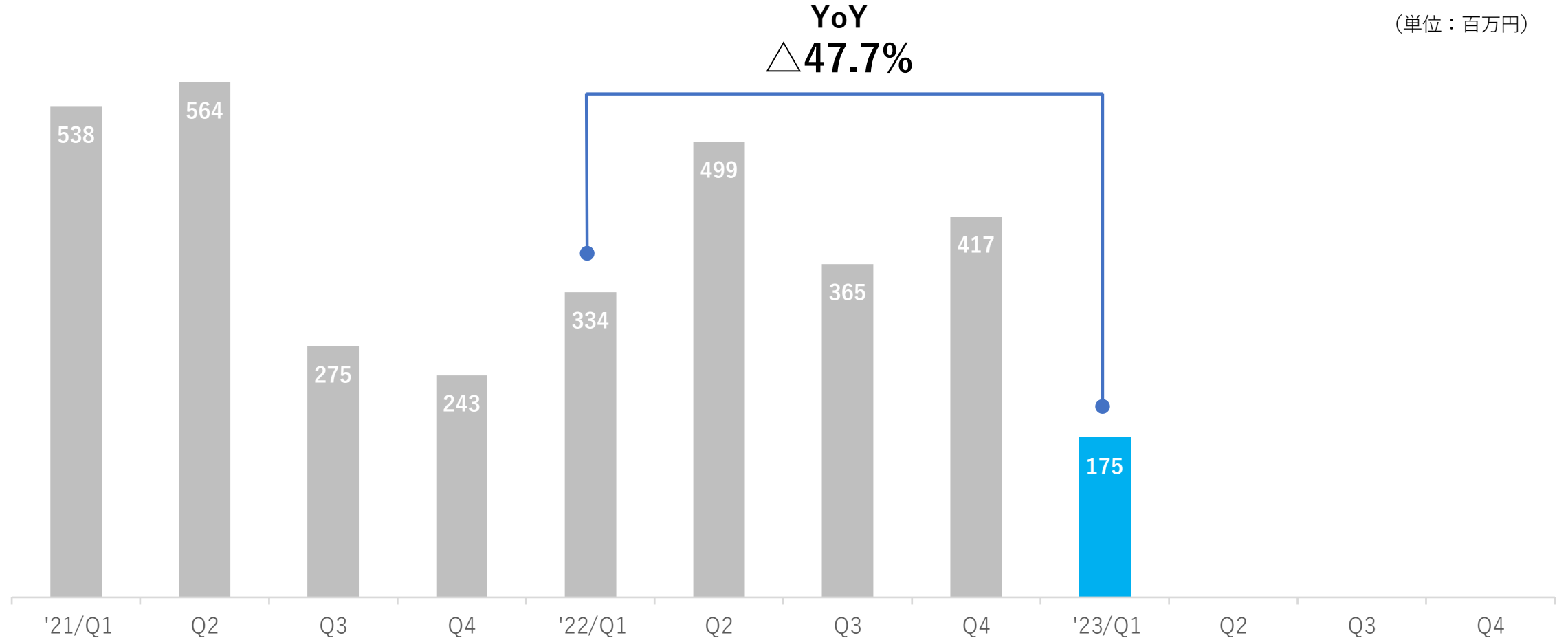


※ セグメント別ののれん償却費を含むセグメント利益を表示しております。

※ セグメント売上はセグメント間の内部売上を含めた表記としており、その合計値は連結売上数値と一致していません。

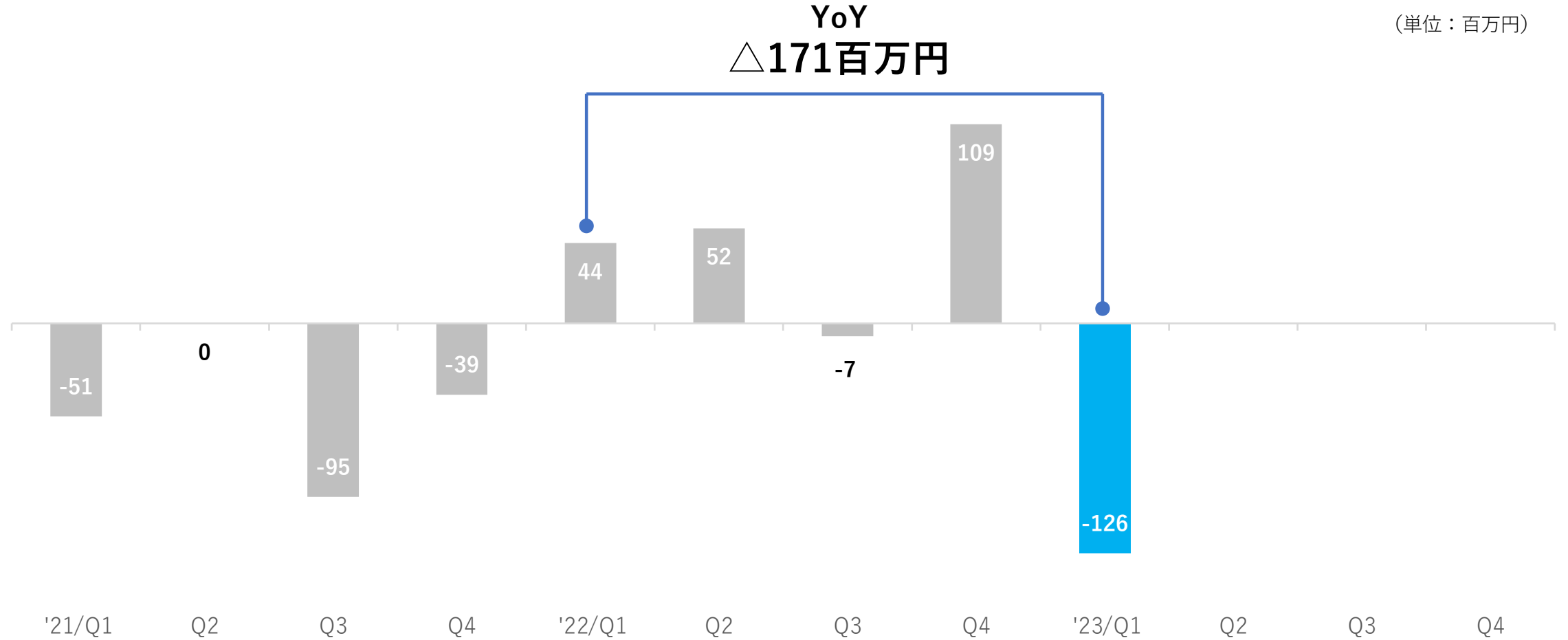
## 売上高の推移

・前期Q1と比して、Eラーニング事業および子会社の譲渡による影響を受け、その分売上高は減少



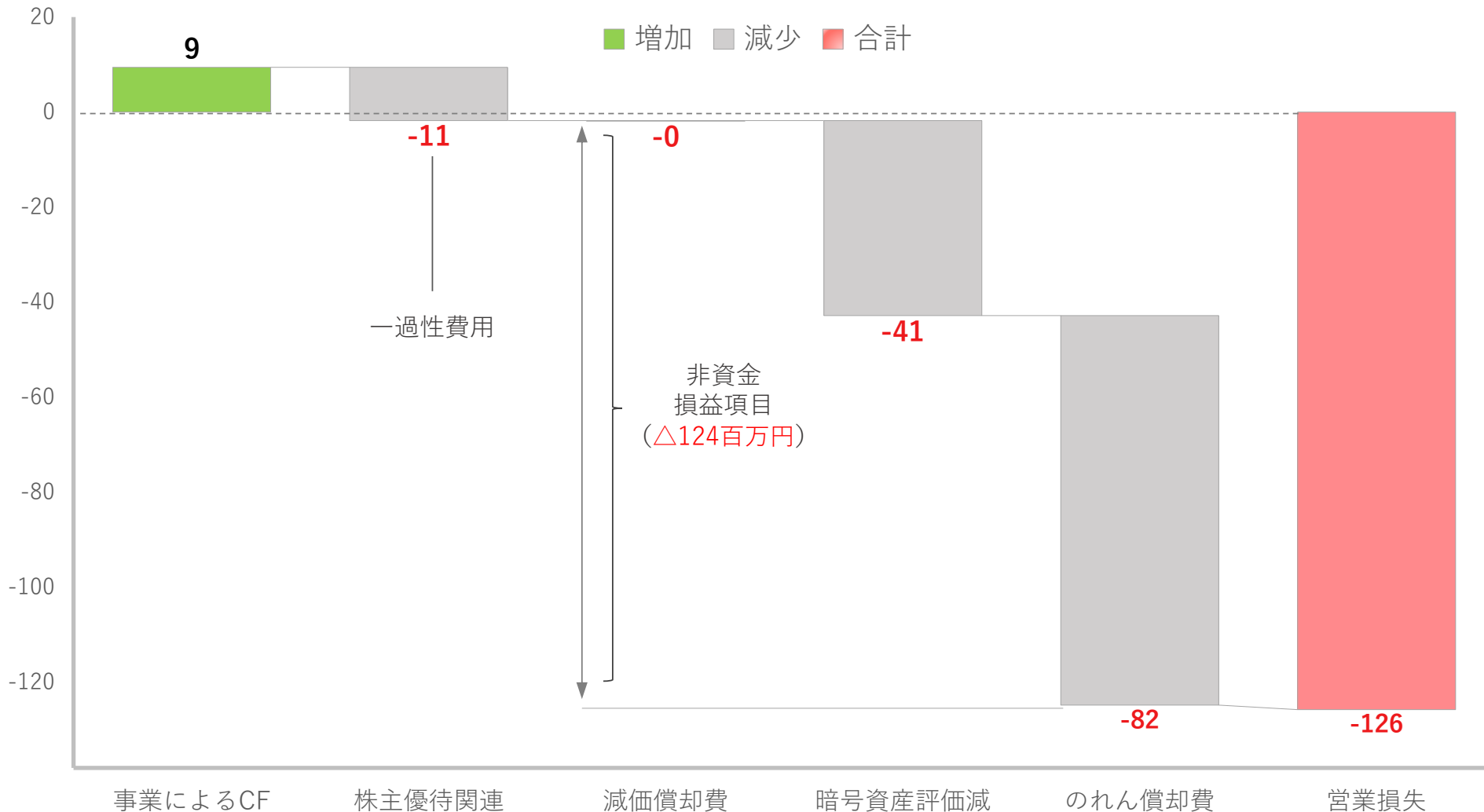
## 営業損益の推移

・前期Q1と比して、のれん償却費の増加および暗号資産評価減によるマイナス影響を上回る事業収益および投融資事業収益を獲得できず、営業利益は減少





(単位：百万円)



※ 「事業によるCF」は、事業活動から得られた実態的なキャッシュフローを集計しております。

- ・引き続き財務健全性を維持 自己資本比率91.4%・負債比率8.9%
- ・一方、適切な資産管理を行いつつ手元流動性を高めていく

(単位：百万円)

	2022年10月期	2023年10月期 第1四半期
資産の部		
流動資産		
現預金等	1,169	<b>1,111</b>
暗号資産	1,084	<b>1,339</b>
流動資産合計	2,809	<b>2,691</b>
固定資産		
有形固定資産	4	<b>4</b>
無形固定資産	2,131	<b>2,048</b>
投資その他の資産	1,498	<b>1,306</b>
固定資産合計	3,634	<b>3,359</b>
資産合計	6,444	<b>6,051</b>

	2022年10月期	2023年10月期 第1四半期
負債の部		
流動負債		
短期借入金	30	<b>68</b>
流動負債合計	284	<b>221</b>
固定負債		
固定負債合計	311	<b>270</b>
負債合計	596	<b>491</b>
純資産の部		
株主資本等		
資本金	50	<b>50</b>
資本剰余金	4,855	<b>4,855</b>
利益剰余金	731	<b>583</b>
自己株式	-12	<b>-12</b>
純資産	5,848	<b>5,559</b>
負債純資産合計	6,444	<b>6,051</b>

# 02

## 事業ハイライト

状況や対策等

1-ターゲット選定  
リード獲得



属性：上場企業中心  
業種：Game、プラットフォームサービス

2-サービス内容  
拡充



- ・ Web3ビジネス企画やコンサルティング、ブロックチェーンを用いたシステム開発
- ・ トークンやNFTの発行及び上場支援

3-顧客課題への  
対応



- ・ 暗号資産に関する規制対応
- ・ 税務、会計、法務に関する知見の提供

4-契約締結



- ・ パイプライン（GameFi、アートトークン）
- ・ プロジェクト（Web3ビジネス企画等）
- ・ POC and more . . .

5-プロジェクト  
スタート



- ・ サービス提供
- ・ 収益化開始

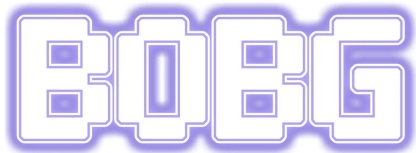
Gameとトークン（NFT）の相性は非常に良く、なかでも上場企業との接点が増加

当社が強みとするトークン発行支援に加え、規制対応面での各種コンサルティング依頼も増加

規制優遇地域（フリーゾーン）でのトークンビジネスの支援体制を構築。海外進出を支援

案件内容の多様化  
Web3企業との提携も増加（次ページ）

複数プロジェクトを同時並行で動かせる体制化Bizdevメンバーの増員。管理手法の改善



・ doublejump.tokyo、BOBG社と連携してトークン発行/管理/運用の支援を行い、エコノミクス設計から上場、グロースまで一気通貫で包括的なサポートを提供する。

・ 本パートナーシップによりさらに多様なトークン発行ストラクチャー構築を可能。また、doublejump.tokyo、BOBG社との連携により、ゲーム会社等へのサポートも拡大する。



・ 海外展開を見据えたWeb3プロジェクトにおけるPolygon導入サポート体制を強化。

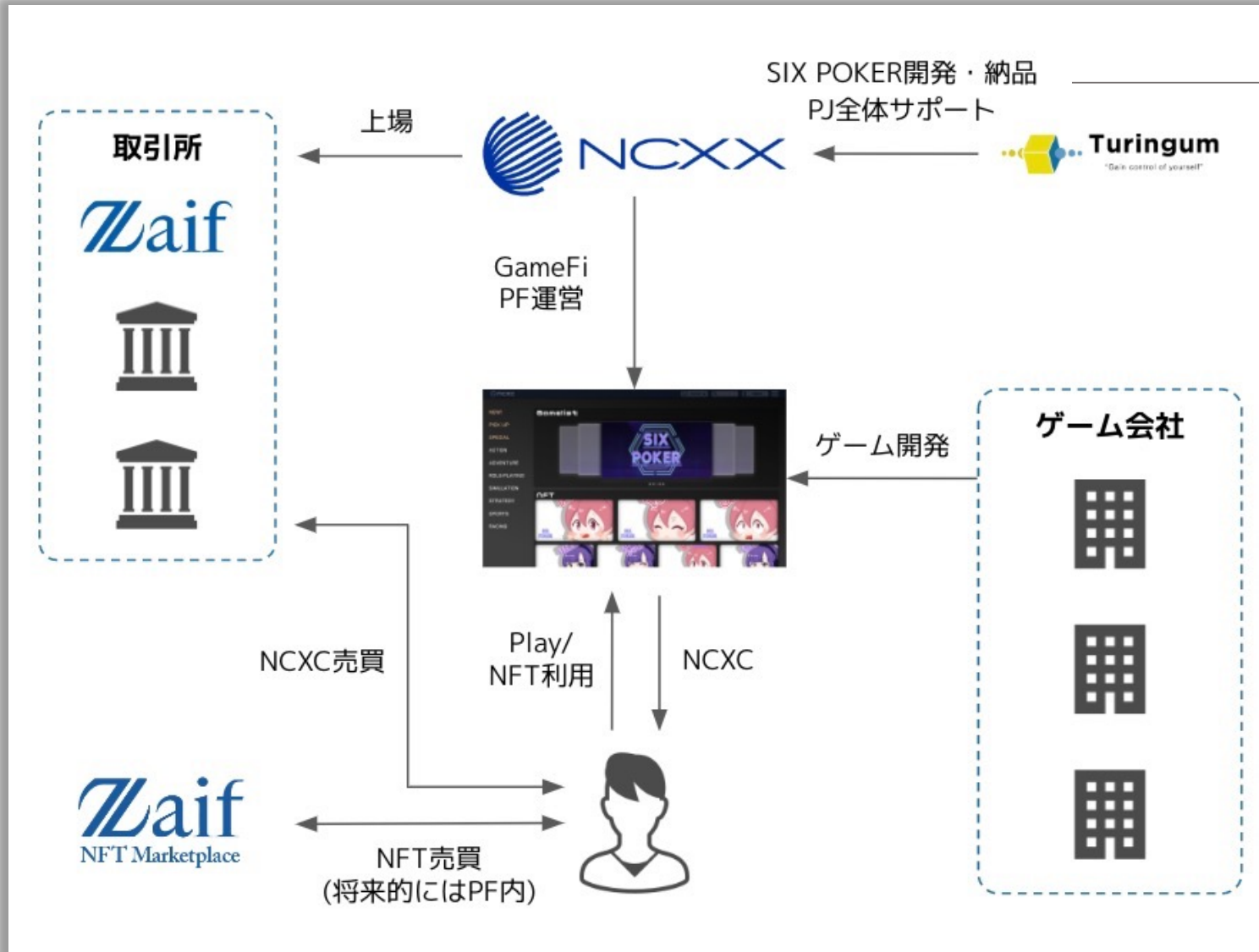
・ PolygonStudiosとの協業により両社の知見共有と開発連携を図ることで、Polygonブロックチェーンの利用を検討されるお客様へのサポートを実施する。



・ 顧客の利便性向上や日本円でオンチェーンのNFT取引ができる「SBI Web3ウォレット」を活用したWeb3プロジェクトの支援を開始。

・ 本協業が進化することにより、パブリックチェーンでのNFTを活用したビジネスを検討しているIP保有企業やゲーム企業等のスムーズな参入を支援する。

and more . . .



納品済み

NCXC

SIX POKERが大幅機能アップデート!

- ウォレット接続機能  
Metamaskなどウォレットを接続するとNCXCが買えるようになります!
- ミッション機能  
デイリーとマンスリーのミッションをクリアしてNCXCが買えるチャンス!
- マンスリーランキング  
マンスリーランキング上位のユーザーはNCXCが買えるチャンス大!

WALLET  
WALLET ADDRESS  
Walletを接続

MISSION HISTORY

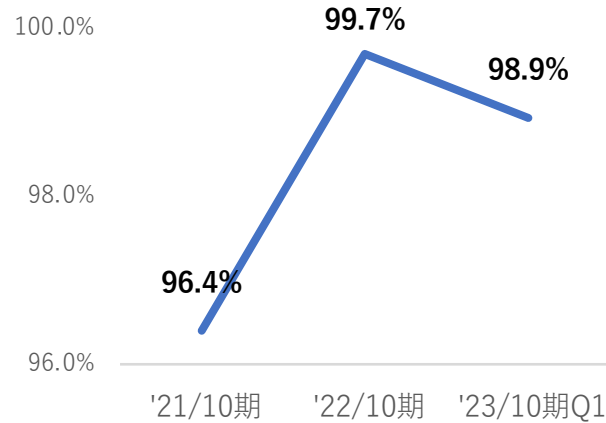
MONTHLY MISSION

WORLD RANK MONTHLY RANK

Rank	User	Score
1	TestUser 2	12,500
2	TestUser 1	1,750

- ・ 主要KPIであるエンジニア稼働率は高水準を維持
- ・ エンジニアの市場価値アップにより一人当たり売上も上向きトレンド

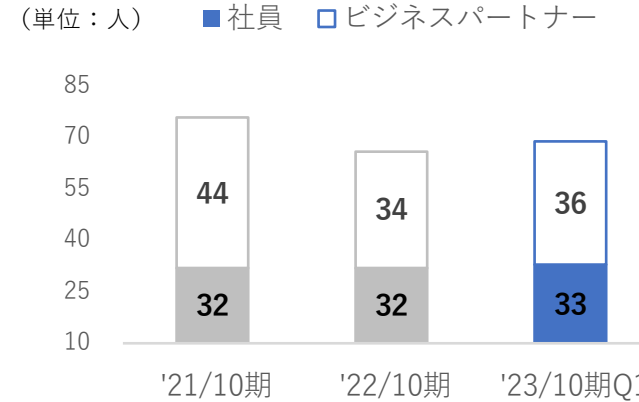
### エンジニア稼働率



・ ITエンジニアのニーズが高まるなか、強みとしているWEB系開発において継続的に受注。

・ 既存と新規顧客に積極営業を展開。

### エンジニア数

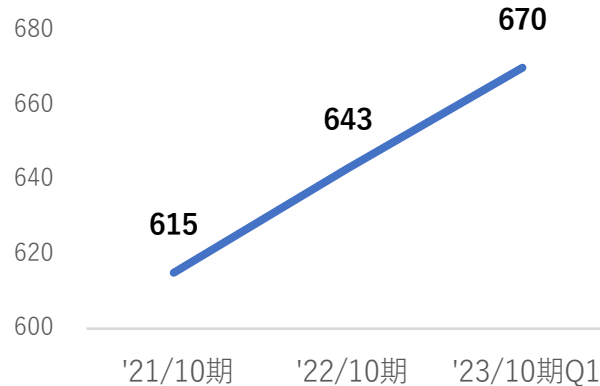


・ コロナ禍での採用見直しにより、エンジニア数は横ばい。

・ 2023年は採用チームを創設し、採用競争力を高めエンジニア数を増加させる。

### 一人当たり売上

(単位：千円/月)

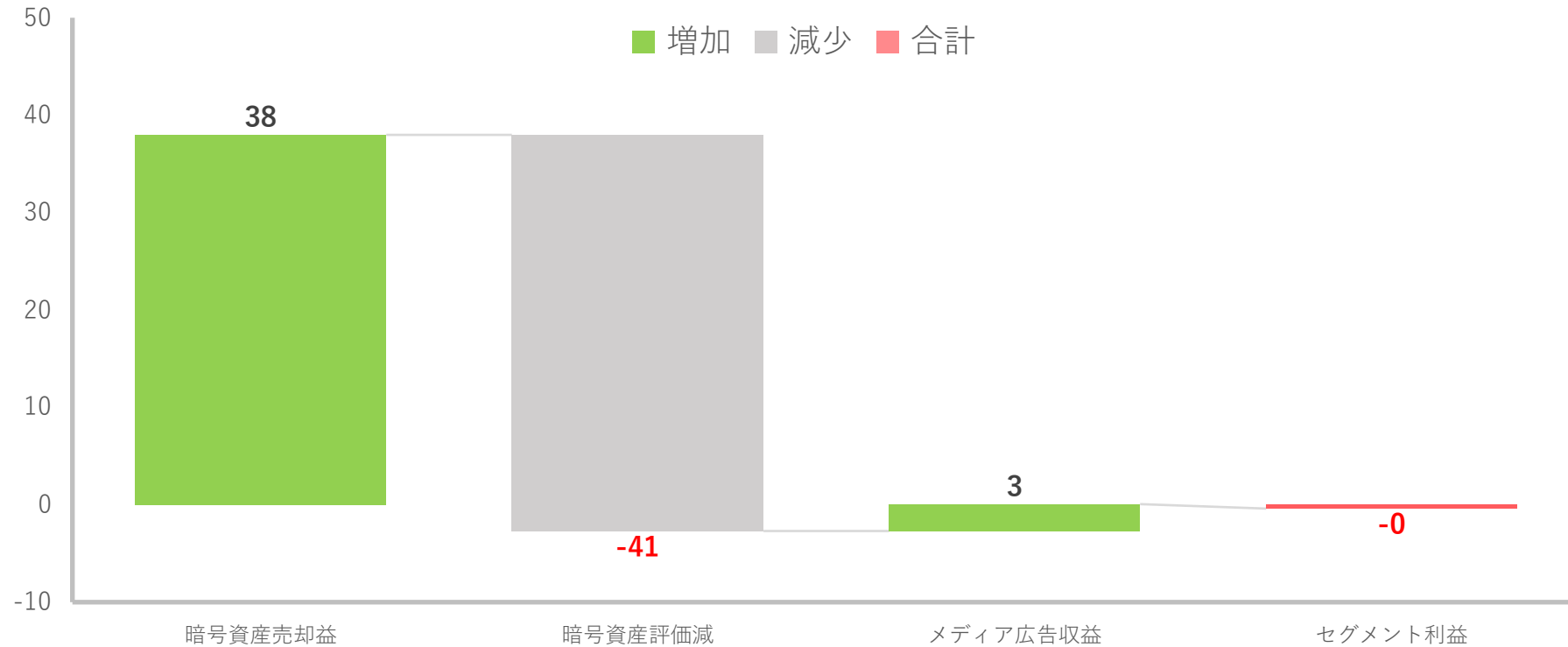


・ 小規模の強みを活かした組織運営により、従業員の定着化がスキルアップと客単価向上の成果に貢献。

・ さらなる上位レイヤーの業務を獲得し、客単価向上を狙う。

- ・ 暗号資産市場の不況による評価減が発生するが、売却益獲得しリカバリ
- ・ 引き続き市場動向を注視し資産ポートフォリオを適切にマネジメント

(単位：百万円)

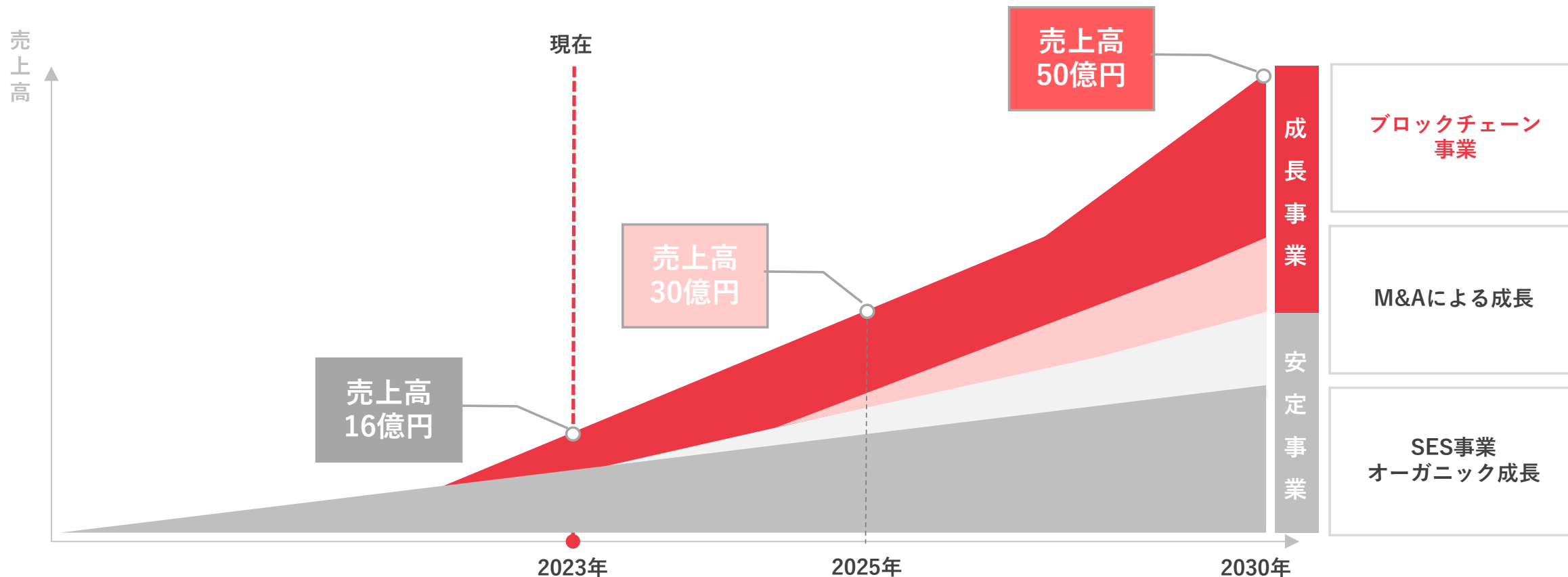




# 03

## 成長戦略

- 1 既存事業のオーガニック成長**  
SES事業において、「採用強化」「付加価値向上（スキルアップ）」「営業強化（顧客獲得）」を中心施策として成長を促進
- 2 M&Aによる成長**  
M&Aを加速させ、ケイパビリティとキャッシュフロー事業の獲得を行い、成長に繋げる
- 3 ブロックチェーン事業+α**  
ビジョンとして掲げるブロックチェーン事業の収益基盤の構築



- ・業績見通しの変更はなし
- ・システムエンジニアリング事業の安定収益維持、ブロックチェーン事業の案件化  
M&Aによる収益力の向上

(百万円)	2022年10月期 実績	2023年10月期 見通し	前年比 (%)	見通しに対する解釈
売上高	1,616	<b>2,289</b>	142%	高い売上高成長を継続
EBITDA	441	<b>686</b>	155%	事業キャッシュフローの獲得・成長
営業利益	199	<b>323</b>	162%	
経常利益	193	<b>325</b>	168%	
当期純利益	753	<b>315</b>	42%	黒字決算の継続

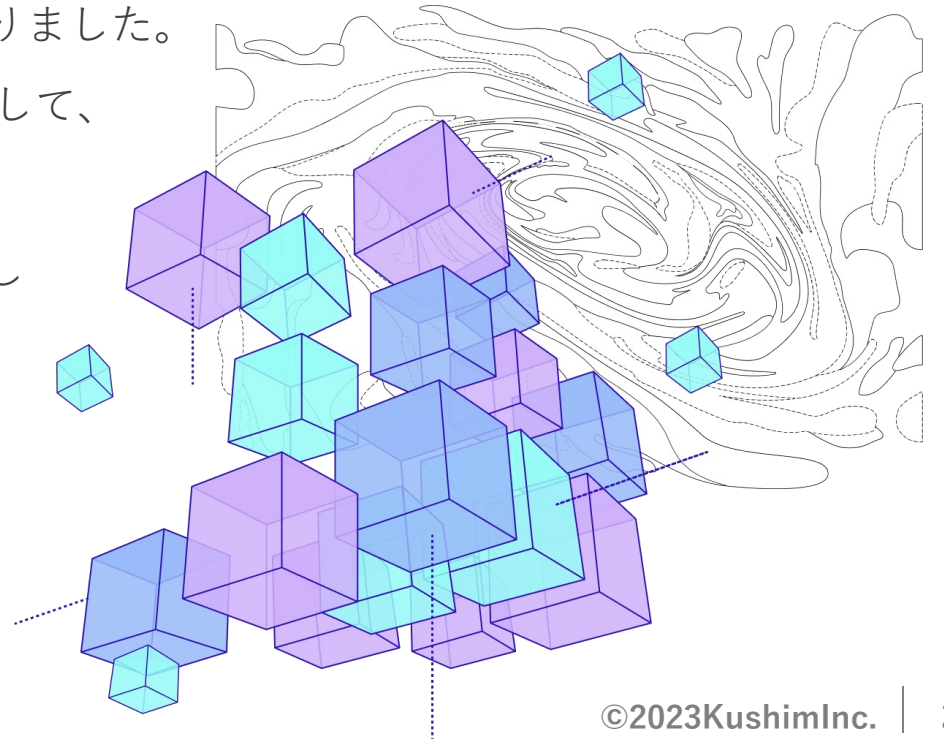
**04**

**Appendix**

会社名	株式会社クシム
代表者	代表取締役会長 中川博貴 代表取締役社長 伊藤大介
設立	1997年6月12日
資本金	5,000万円
社員数	連結54名（2023年1月現在）
上場市場	東証スタンダード市場（2345）
本社	東京都港区南青山6-7-2
事業内容	ブロックチェーン技術のR&Dおよびシステム開発事業 システムエンジニアリング事業 投融資事業

# ブロックチェーン技術の社会実装 を推進しその普及に貢献する

わたしたちは、これまでブロックチェーンの技術に真摯に取り組んでまいりました。  
2022年より更なる高みを目指し、ブロックチェーンサービスカンパニーとして、  
社会から必要される企業に生まれ変わりました。  
ブロックチェーン技術を活用したサービス・プロダクトの社会実装を推進し  
その普及に貢献することをMissionに掲げております。



## ブロックチェーン・Web3に特化したプロジェクト支援サービスを提供

ビジネス企画からシステム開発、プロジェクト運営まで一気通貫でサポート

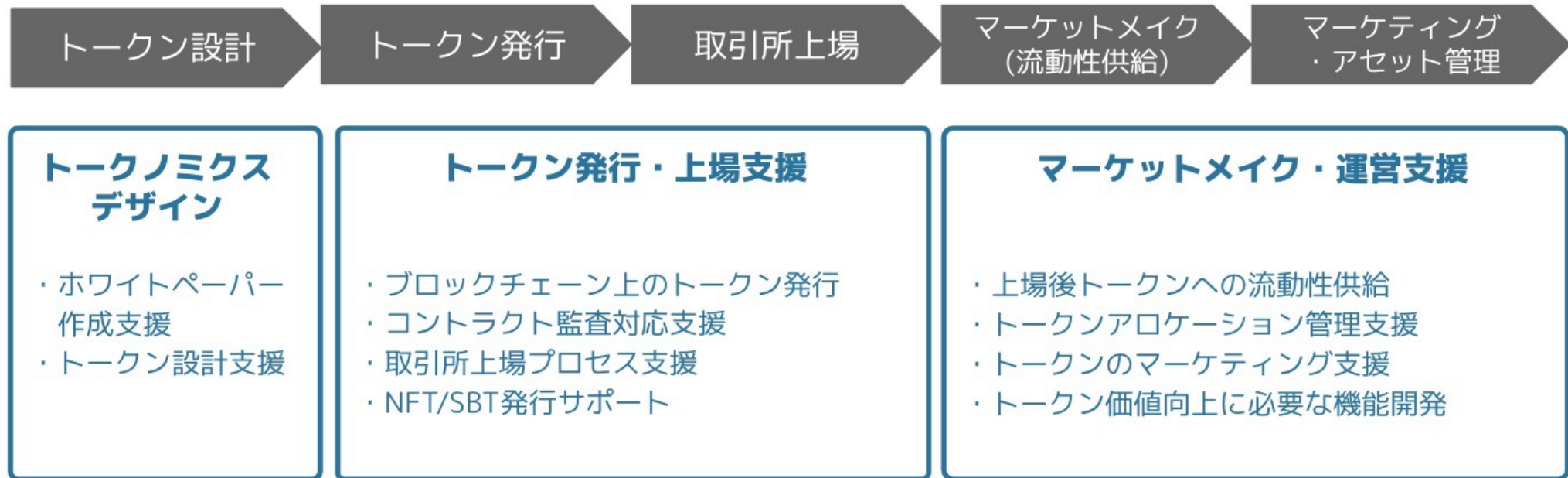


## 主なサービス内容

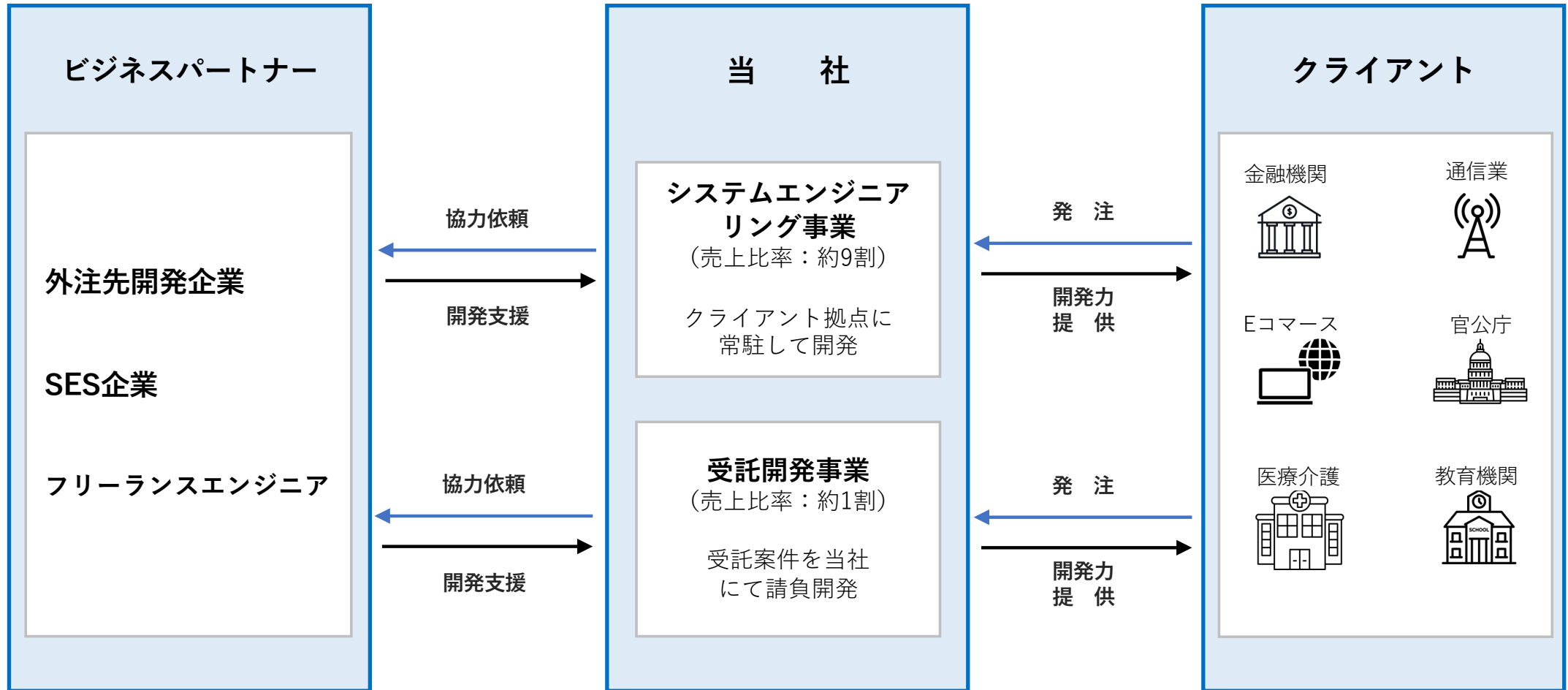
- トークノミクス設計などの企画
- トークン上場、マーケットメイク支援
- トークンにかかるマーケティング支援
- スマートコントラクト開発
- NFT/SBTビジネス企画・システム開発
- NFTマーケット等の取引システム開発

## トークンプロジェクトのフロー

- ・ トークンの企画段階から管理・運営まで総合的にサポートいたします
- ・ PJのフェーズ、ニーズに合わせた柔軟なサポートプランの設計も可能です







## 投融資事業

複数の暗号資産および有価証券に投資を実行  
BTC、ETH等、アルトコイン  
その他

## メディアサイト運営事業

- ・暗号資産・NFT・GameFi等
- ・資格取得

あなたの選択肢をもっと自由にするメディア  


## M&A 資本業務提携

M&A仲介企業やデータベースを用いて候補となる企業のソーシング

対象企業：

- ・SI /SESおよび高度ITエンジニアリング
- ・ブロックチェーン領域の企業

# 本資料の取り扱いについて

本書は、株式会社クシムに関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述を含みます。これらの記述は、当社が本書の作成時点において入手した情報に基づき、本書の作成時点における予測等を基礎として記載されています。

これらの記述のためには一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述、または前提(仮定)は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、アニュアルレポート等をご参照ください。

本書における将来に関する記述は、本書の作成時点のものであり、本書の作成時点の後に生じた事情によりこれらの記述に変更があった場合でも、当社は本書を改訂する義務は負いかねますのでご了承ください。

本書における当社以外の企業等にかかわる記述は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について、当社はこれを保証するものではありません。本書で使用するデータまたは表現等の欠落、誤謬、本書の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本書にかかる一切の権利は、株式会社クシムに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。



**Küshim**